

サンプラザ・
区役所地域

巨大開発より福祉医療の充実を！

サンプラザ解体・区役所移転をはじめとする大規模開発計画。区民施策への圧迫や、今ある商店街への影響も心配されます。駅のバリアフリー化は推進すべきですが、無謀な巨大開発は見直すべきです。

中野区は家庭ごみの有料化を検討しています。これは東京23区どこもやっていない、区民に負担ばかりを押し付ける悪政の先取りです。日本共産党議員団は家庭ごみ有料化に反対します。



小杉一男さんを推薦します

小杉さんは48歳の働き盛り。

要請に応じて職場を辞め、中野区政に挑戦します。

幼い頃、親が知人の借金の保証人になって多額の借金を抱えました。その後のつらい生活体験が、大学で福祉を学び、貧困や差別をなくすために尽くす生き方につながっています。誠実な人柄と歯科保険医協会での経験は、これからの活動で遺憾なく発揮されるでしょう。小杉さんのこれからの活躍に心から期待します。

憲法を区政に生かすために、私も全力を尽くします。

元 中野区議会議員

江田 徹



小杉一男

日本共産党

中野地区
医療福祉対策室長

ひとりひとりが
大切にされる区政を

プロフィール

【こすぎかずお】1966年横浜市生まれ ■ 新聞配達をしながら予備校へ ■ 日本福祉大学 社会福祉学部卒 ■ 歯科保険医協会事務局勤務 ■ 家族は妻と娘(高1) ■ 趣味はランニング・陶芸・登山

貧困や差別をなくすために福祉の道へ

23年間、歯科保険医協会
会で社会保障の充実を
願って仕事をしてきました。

安倍政権のもとで進められる、特定
秘密保護法・戦争する国づくり・憲法
の改悪・「自己責任」論による社会保障
制度の改悪が許せません。

区政では大規模開発を優先させ、福
祉を犠牲にしています。高齢化が進むなか、国保・介護料の値上げや、医療・
介護難民、孤立死の問題も深刻です。

このたび、一区民として黙ってられないという思いで区議会への挑戦
を決意しました。私は弱い立場の方々の代弁者として多くの方の声に耳を
傾けながら、いのちとくらしを守るという自治体本来の役割を取り戻した
い。お金のあるなしに関わらず、誰ひとり放置されることのない社会を実
現させるために、区政の先頭に立つ決意です。

党中野地区
医療福祉対策室長

小杉 一男

 生い立ち

6才の頃、父が借金の連帯保証人になって多額の借金を抱える。両親は離婚、
母が苦勞して三人の子どもを育てた。高校卒業後、上京。学費を貯めるために住
み込みで新聞配達をする中で、町の人々と触

みなさんと力をあわせてがんばります！

福祉・医療の充実めざして

